Creative Enzymes®

プリンヌクレオシドホスホリラーゼ、組換え

Cat. No. NATE-0644

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	プリンヌクレオシドホスホリラーゼは、プリン代謝に関与する酵素です。PNPはアデノシンをアデニンに、イノシンをヒポキサンチンに、グアノシンをグアニンに代謝します。PNP遺伝子の□異は、プリンヌクレオシドホスホリラーゼ欠乏症の原因となります。
用途	プリンヌクレオシドホスホリラーゼは、ヌクレオチド回収□路とプリン代謝を研究するために使用されます。プリンヌクレオシドホスホリラーゼ欠損症とそれに関与するPNP遺伝子□異を研究するためにも使用されます。この製品は組換えであり、E. coliで発現されています。
別名	プリンヌクレオシダーゼホスホリラーゼ; イノシンホスホリラーゼ; PNPase; PUNPI; PUNPII; イノシン-グアノシンホスホリラーゼ; ヌクレオチドホスファターゼ; プリンデオキシヌクレオシダーゼホスホリラーゼ; プリンデオキシリボヌクレオシダーゼホスホリラーゼ; プリンヌクレオシダーゼホスホリラーゼ; プリンリボヌクレオシダーゼホスホリラーゼ; EC 2.4.2.1; 9030-21-1

製品情報

由来	E. coli
形態	緩衝水溶液（100 mMリン酸緩衝液、1 mM MgCl2を含む）
EC番号	EC 2.4.2.1
CAS登□番号	9030-21-1
活性	> 120 U/mL
単位定義	1 Uは、pH 7.4、25°Cで1μmolのイノシンをヒポキサンチンとリボース1-リン酸にリン酸化分解します。

保管・発送情報

保存方法	−20°C